資本の攻勢の必然性に就ては省略するが「本年度の統計中「資本攻勢の今」としては「解雇反対三十五件、賃銀値下反五件「請負制度反対一件等が「主」たるものである。之に相反して組合側より積極的に一件要求が、攻勢に出たものとしては待遇改善の四十四件、賃銀値上げ七件等である。一般的に云へは資本の行詰り現象による必然の結果とこの組合圧迫により強度の労働者争議が現出しつゝあるのであるが此の傾向の強いのにも拘らず「我々の積極的態度が動き終始しておるのに「一面組合力の拡大を意味し「戦術的には其の功妙さがよく現はれる。

左表は十二年十一月末川崎市富士瓦斯紡績大争議の除組登したる建長実力の統計である。



富士紡川崎工場爭議總決算表

| 月日 | 人員數 | 賃銀 | 雜費 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 11月29日 | 1,315 | 120.50 | 573.60 | 694.10 |
| 28日 | 804 | 870.20 | 442.00 | 1,312.20 |
| 27日 | 668 | 924.70 | 337.10 | 1,261.80 |
| 26日 | 432 | 631.30 | 242.70 | 874.00 |
| 25日 | 260 | 276.20 | 63.80 | 340.00 |
| 24日 | 279 | 204.50 | 64.20 | 268.70 |
| 23日 | 1,124 | 473.50 | 282.20 | 755.70 |
| 22日 | 1,147 | 6.00 | 676.90 | 682.90 |
| 21日 | 396 | 628.50 | 232.00 | 860.50 |
| 合計 | 6,276 | 4,140.40 | 2,954.50 | 7,094.90 |
| 備考 | 一日平均爭議者數 697人強 | | | |
| | 一日平均總費額 788円32錢 | | | |